

市内保育園でキャラバン隊による火災予防の啓発を実施!

長久手市消防本部

長久手市消防本部では、年末年始にかけてキャラバン隊を組織し、市内保育園を対象に火災予防普及啓発事業を実施しました。

このキャラバン隊は、幼児期の火災予防思想を根付かせるための動機付けと園児を通じ保護者等への火災の予防を促し、各家庭への防火意識の高揚を図るため組織されました。

アトラクションでは、市危険物安全協会のマスコットキャラクター「どーべるくん」と「消太くん」がコラボし、火のこわさや火事があったときの心構えについて楽しく学んでもらいました。



活動する消太くんとどーべるくん

滋賀県建設業協会湖南支部との合同訓練を実施

湖南広域消防局

平成25年11月13日、当消防局は、「局所災害時の消防活動支援に関する協定」を締結している県建設業協会湖南支部と第3回目の合同訓練を実施しました。

瓦礫の下に要救助者を、国際救助隊員を含む高度救助隊が地中音響探索機等により位置を特定、県建設業協会スタッフと協力して瓦礫を除去し、確保した開口部より進入、狭隘な空間から要救助者を救出しました。

訓練後互いの意見や今後の連携について話し合い、より一層の連携強化を図ることができました。



重機を使った瓦礫除去訓練の様子

消防通信 望楼 ぼうろう

第1回RESCUEネットワークOSAKAを開催

大阪市消防局

平成25年12月6日、当消防局において、救助技術の発展と顔の見える環境づくりを目的に、大阪府内30消防本部の救助実務担当者200名が参加し、第1回RESCUEネットワークOSAKAを開催。

南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応を受け、大阪府内の救助隊員もさらなる連携強化が求められています。今回は、グループ討議を行い、さらに連携を深めるには、「用語、資器材の違い、訓練要領」等を統一すべきではないかとの意見が多く出されました。

今後も議論を重ね、救助技術の発展と連携強化を目指します。



グループ討議の様子

尼崎市消防出初式の開催

尼崎市消防局

平成26年1月12日、尼崎市消防局では、市立中央中学校グラウンドにおいて消防出初式を開催しました。

消防関係者1,800名による分列行進や消防訓練のほか、市内ゆるキャラたちと一緒に「地震に負けない強い子になります」と力強く宣言するからたち幼稚園園児たち。ちびっこを対象とした体験イベントも実施され、約1,000人の来場者でにぎわいました。

本田消防局長は、「消防職・団員が一丸となりマンパワーを発揮させ、市民の皆様が安全・安心をより実感できる尼崎を目指します」と、決意を新たに訓示をしました。



観閲・分列行進の様子

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】